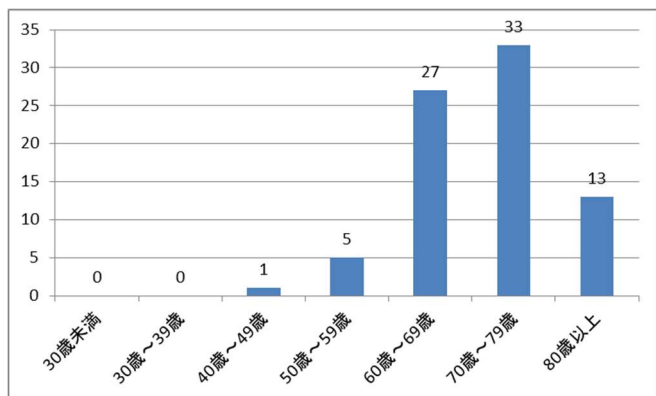
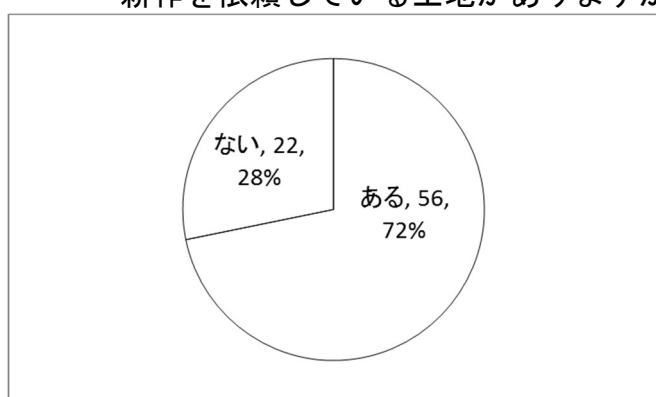


袋井西地区

回答年齢



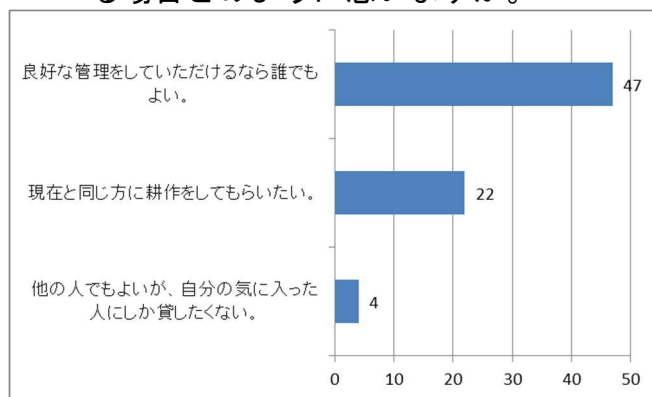
Q2-1 所有農地について 耕作を依頼している土地がありますか。



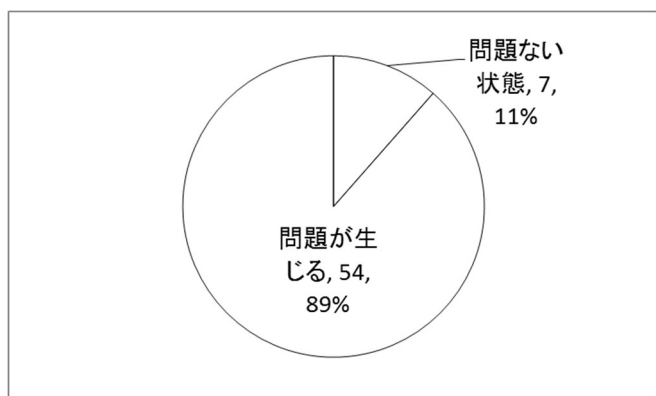
Q1 ご自身の営農状況について 現在、ご自身で耕作していますか。



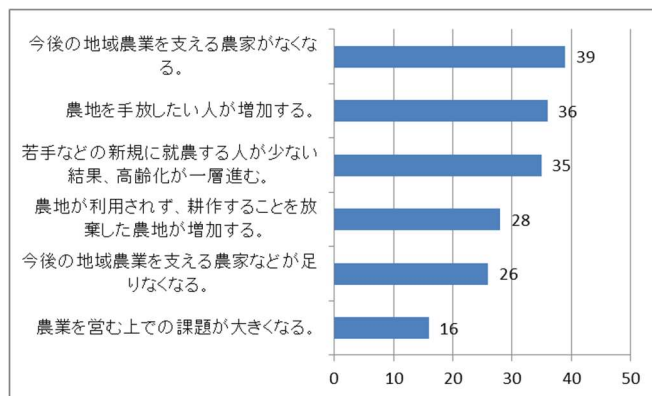
Q2-2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。



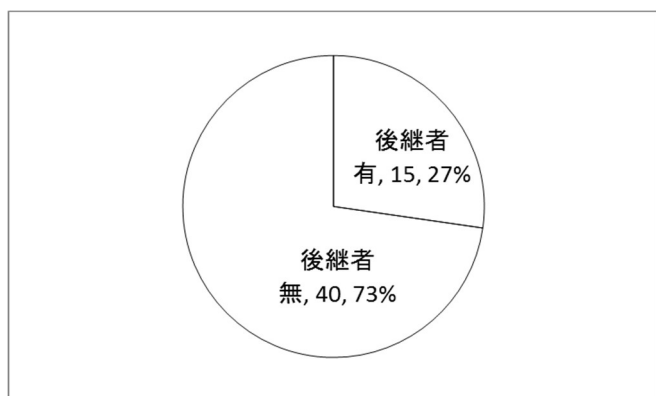
Q5-1 あなたの地域の農業（人と農地）は10年後にどのようになっていると思われますか。



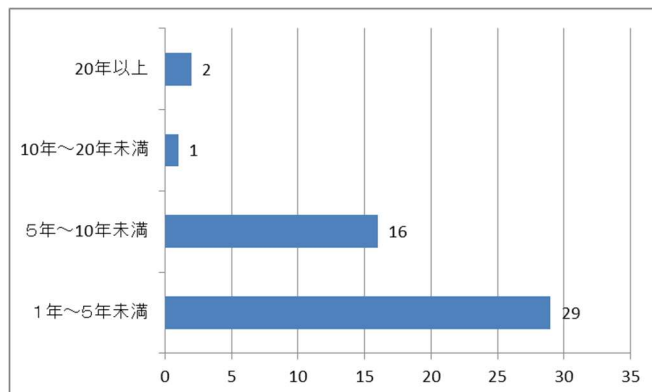
Q5-2 問題と思われる課題



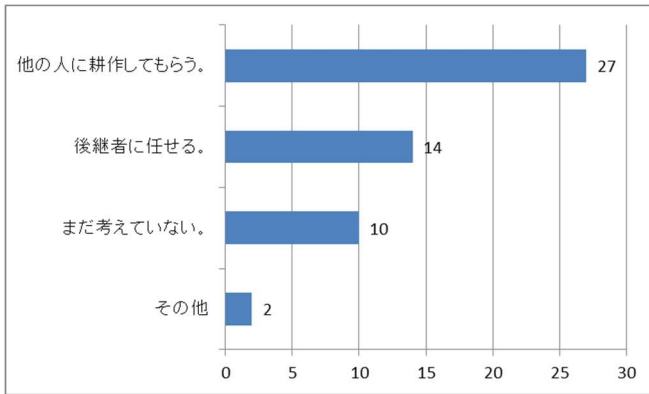
Q7-1 後継者の有無



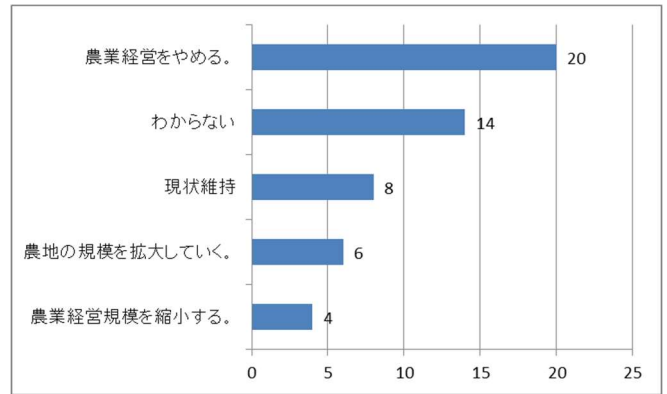
Q7-2 あと何年耕作を続けると思いますか。



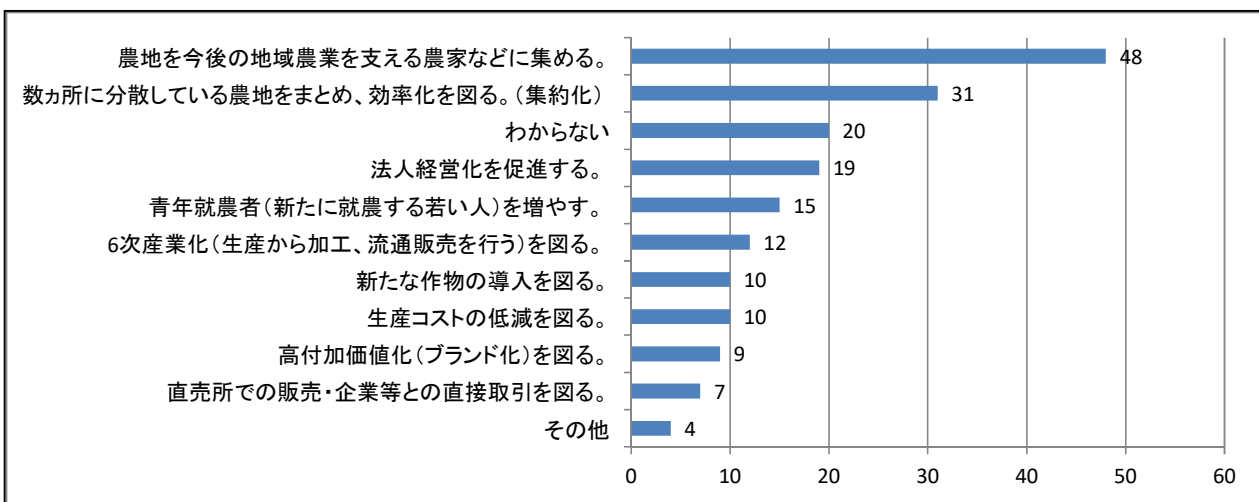
Q7-3 今後、耕作を続けられなくなった場合どうしますか。



Q9 今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。



Q10 今後の（10年後）の地域農業について、どのような取り組みを行い、発展させていく必要があると思いますか。



袋井西地区農業推進委員会 アンケート結果

【対象者】 132人

【回答者】 83人

【耕作地区】 袋井西地区 61人 袋井北地区 6人 今井地区 2人
浅羽東地区 1人 浅羽幸地区 1人 浅羽西地区 4人

【性別】 男性 71人 女性 10人

【職業】 専業農業者 32人 兼業農業者 20人 農業以外 22人

【年齢】 30歳未満 0人 30歳～39歳 0人 40歳～49歳 1人
50歳～59歳 5人 60歳～69歳 27人 70歳～79歳 33人
80歳以上 13人

【耕作面積】 ①自分で耕作していない 29人
②3,000㎡未満 10人 ③3,000㎡～10,000㎡未満 24人
④10,000㎡～100,000㎡未満 61人 ⑤100,000㎡以上 18人

【設問1】ご自身の営農状況について

1 現在、ご自身で耕作していますか。

耕作している 52人 耕作していない 27人

【設問2】所有農地について

1 耕作を依頼している土地がありますか。

ある 56人 ない 22人

2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。

① 現在と同じ方に耕作をしてもらいたい。 22人

② 他の人でもよいが、自分の気に入った人にしか貸したくない。 4人

③ 良好な管理をしていただければ誰でもよい。 47人

【設問3】 今後、所有している農地について、どのように考えておられますか。(未耕作者)

- ① 今後も農地として、耕作してもらおう。 26人
- ② 農地以外の用途に利用していく。 10人
- ③ その他 6人

【設問4】 集約化に向けた課題 地域内で年貢、小作料の統一が必要か

- ① 統一すべき (例 10a 当たり 10,000 円) 36人
- ② 農地等の条件が違うため、統一はできない。 33人
- ③ その他 7人

【設問5】 あなたの地域の農業 (人と農地) は 10 年後にどのようになっていると思いますか。

- 1 問題ない状態 (各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている) 7人
- 2 問題が生じる。 54人

(問題と思われる課題を回答してください[複数回答可])

- ① 農地が利用されず、耕作することを放棄した農地が増加する。 28人
- ② 今後の地域農業を支える農家がなくなる。 39人
- ③ 今後の地域農業を支える農家などが足りなくなる。 26人
- ④ 若手などの新規に就農する人が少ない結果、高齢化が一層進む。 35人
- ⑤ 農地を手放したい人が増加する。 36人
- ⑥ 農業を営む上での課題が大きくなる。(例：近隣からの苦情等) 16人

【設問6】 耕作することが困難となった場合 貸出方法 (複数回答可)】 農地を貸し出すことになった場合について、どのような方法が良いと考えていますか。

- ① 貸し手と借り手相対で行う。(利用権設定事業) 33人
- ② 農地中間管理機構が仲介して行う。(農地中間管理事業) 45人

【設問7】 耕作している方にお聞きします。現在、後継者の目処はついてますか。

1 後継者の有無

- ① 有 15人
- ② 無 40人

2 あと何年耕作を続けるとお考えですか。

- 1年～5年未満 29人
- 5年～10年未満 16人
- 10年～20年未満 1人
- 20年以上 2人

3 今後、耕作を続けられなくなった場合はどうしますか。

- ① 後継者に任せる。 14人
- ② 他の人に耕作してもらおう。 27人
- ③ まだ考えていない。 10人
- ④ その他 2人

【設問8】 耕作している方にお聞きいたします。

現在、あなた自身の経営は、地域の中でどういう位置づけだと思えますか。

- ① 地域の中心となる農家であり、今後も中心になると思う。 5人
- ② 地域の中心となる農家であるが、将来的には中心にならないと思う。 7人
- ③ 今は地域の中心となる農家ではないが、将来的には目指していく考え。 1人
- ④ 今は地域の中心となる農家ではなく、将来的にも考えていない。 34人

【設問9】 耕作している方にお聞きします。

今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。

- ① 農地の規模を拡大していく。 6人
- ② 現状維持 8人
- ③ 農業経営規模を縮小する。 4人
- ④ 農業経営をやめる。 20人

⑤ わからない。 14人

Q9で規模を縮小する又は農業経営をやめると答えた方にお聞きします。

① 農地は今後も（貸すなど）農地として残していきたい。 16人

② 農地以外の用途で活用したい。 14人

【設問10】 今後の（10年後）地域農業について、どのような取組を行い、発展させていく必要があると思いますか。 [複数回答可]

① 農地を今後の地域農業を支える農家などに集める。 48人

② 数ヵ所に分散している農地をまとめ、効率化を図る。 31人

③ 生産コストの低減を図る。 10人

④ 新たな作物の導入を図る。 10人

⑤ 直売所での販売・企業等との直接取引を図る。 7人

⑥ 6次産業化（生産から加工、流通販売を行う）を図る。 12人

⑦ 高付加価値化（ブランド化）を図る。 9人

⑧ 青年就農者（新たに就農する若い人）を増やす。 15人

⑨ 法人経営化を促進する。 19人

⑩ その他 4人

⑪ わからない。 20人

◎ご意見等

- ・ 利用権設定・農地中間管理事業の割合は？
- ・ 高齢者でも働けて、収入が入る農業を考えていく
- ・ 小作料は廃止
- ・ 畑の管理が大変。草の処理は除草剤に頼っている
- ・ 安定した収入があれば農業従事者も増える
- ・ 青地農地から早く除外して欲しい
- ・ 農地を宅地化して欲しい
- ・ 専業になる予定だが検討中
- ・ 赤字経営
- ・ 農業機械が古くなったが、設備投資は年齢的に無理
- ・ 土橋の工業開発の話を進めてほしい
- ・ 門戸をもっと広く
- ・ 水田に蓮華・ヒマワリ等を植えて楽しめるといい
- ・ ブランド米を耕作し、若手後継者を増やす
- ・ 土橋の除外が反対者により進んでいない
- ・ 住宅地の中の農地は、借りてもらうのが難しい
- ・ 土地の管理をお願いしたい
- ・ お茶はやれない
- ・ 転売したい
- ・ 田原の水田は取り残されている

◎その他のご意見

- ・ アンケートの結果報告をして欲しい
- ・ 集約化には耕作地の作業性に差がないことが前提
- ・ 地域にあった換金作物を積極的に考え取り入れていく
- ・ 子供は泥んこ遊び等で、農業に親しめるといい
- ・ 土橋は土地改良がされていないので個人で大規模化をしている
- ・ 畑の周囲が宅地で、消毒肥料により苦情有
- ・ 農地の整備計画の策定をして欲しい
- ・ 農機具が高額
- ・ 機械を使うと道路に土が落ちる